平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名　株式会社 ナガセ　　上場取引所　大
コード番号　9733　URL　http://www.toshin.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）永瀬昭幸
問合せ先責任者（役職名）取締役総務本部長　（氏名）重清安雄　TEL 0422-45-7011

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,988	4.7	△1,268	―	△1,340	―	△995	―
23年3月期第1四半期	6,675	2.5	△1,626	―	△1,707	―	△1,608	―

（注）包括利益　24年3月期第1四半期　△1,020百万円　（―%）　23年3月期第1四半期　△1,646百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△103.88	―
23年3月期第1四半期	△167.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	30,866	6,414	20.8
23年3月期	34,481	7,819	22.7

（参考）自己資本　24年3月期第1四半期　6,414百万円　23年3月期　7,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	40.00	40.00
24年3月期	―				
24年3月期（予想）		0.00	―	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,560	5.1	△117	―	△221	―	△387	―	△40.39
通期	38,466	5.4	4,086	141.1	3,876	169.2	1,831	―	191.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,148,409 株	23年3月期	10,148,409 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	567,419 株	23年3月期	567,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,581,076 株	23年3月期1Q	9,590,727 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災及び福島原発事故の影響により、生産量、輸出量とも減少する大変厳しい状況で始まりました。６月には一部に回復の動きが見られたものの、電力の供給不足、放射能汚染や風評被害などの問題は未だ解決の糸口が見えないなか、国際情勢においても、依然として続く円高や、米欧諸国の財政危機の影響などの懸念材料が山積し、先行きが不透明な状況にあります。個人消費の面でも、雇用環境、所得環境は好転せず、停滞が続いています。

このような厳しい経済状況下ではありますが、当業界においては、教育に対する国民の関心が高く、民間教育に対する期待も大きくなっています。その一方で、生徒、父母が求める教育サービスの水準は高まり、それを提供する教育機関に対する選別が進められており、教育業界の競争は激しさを増しております。

こうしたなか、当社グループでは、主要部門である高校生部門（東進ハイスクール、東進衛星予備校等）、小・中学生部門（四谷大塚、東進スクール等）、スイミングスクール部門（イトマンスイミングスクール）を中心に、「社会に貢献する人財の育成」を教育理念として、提供するコンテンツの充実や受講環境整備など、「知育、体育、徳育」を総合的に行える体制を一貫して構築してまいりました。この成果は、高校生部門で今年も難関大学の合格実績が伸長するなど結実しており、確実に学力を伸ばす教育機関として高い評価をいただいております。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のようになりました。

新年度は、高校生部門を中心に生徒数が順調に増加、先行指標となる夏期講座の動員についても増勢が続いています。これを受け、営業収益は概ね期初予定に沿って推移し、対前年同期で313百万円の増加となる6,988百万円（前年同期比4.7 %増）となりました。

一方、費用面では、昨年10月より開講した「東進こども英語塾」の運営経費などの増加要因はあったものの、各部門において業務改善、効率化に取り組み、経費圧縮を進めました。これにより、売上が増加している中で、費用全体では8,256百万円と、対前年同期で44百万円減少させることができました。

この結果、営業損失は対前年同期で357百万円改善となる1,268百万円、経常損失は対前年同期で367百万円改善となる1,340百万円となり、四半期純損失は対前年同期で613百万円改善し、995百万円となりました。

なお、当社グループでは、営業収益の計上が生徒募集期にあたる第３、第４四半期に集中し、第１四半期から第２四半期にかけては、費用計上が先行する傾向があります。

（セグメント別の状況）

当第１四半期連結累計期間における各セグメントごとの業績は次のとおりです。なお、セグメント利益（または損失）は四半期連結損益計算書の営業損失に調整額を加えたものです。

①高校生部門

当部門は、東進ハイスクール、東進衛星予備校等で、主に高校生を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は3,399百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は189百万円（対前年同期503百万円の改善）となりました。

②小・中学生部門

当部門は、四谷大塚、東進スクール、東進育英舎、東進四国等で、主に小学生、中学生を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,603百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は314百万円（対前年同期35百万円の改善）となりました。

③スイミングスクール部門

当部門は、イトマンスイミングスクールとして、主に水泳教室、フィットネスクラブの運営を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,485百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント損失は47百万円（対前年同期55百万円の減少）となりました。

④ビジネススクール部門

当部門は、東進ビジネススクール等で、主に大学生、社会人を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は120百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント損失は67百万円（対前年同期33百万円の減少）となりました。

⑤その他部門

その他部門は、出版事業部門、ＰＣスクール部門のほか、新規事業であるこども英語塾部門、国際事業部門を含んでおります。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は633百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失は59百万円（対前年同期39百万円の減少）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における財政状況は、前連結会計年度末に比べ総資産が3,615百万円減少し、30,866百万円に、純資産が1,404百万円減少して、6,414百万円となっております。総資産の減少は、流動資産の減少3,270百万円によるものですが、これは、期末に増加した資金を運転資金や法人税等の支払などに充当したことによる現金及び預金の減少と、募集期に発生した売掛金が順調に回収され減少したことが主な要因となっております。また、固定資産では、のれん代の償却が進むなど、全体としては344百万円の減少となる21,889百万円となりました。

なお、純資産の減少は、配当金383百万円、および当第１四半期純損失995百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

教育業界は、引き続き厳しい経営環境に置かれておりますが、当社グループにおいては、既存部門を中心に生徒数は増加傾向にあり、夏期講習に向けた募集活動も順調に推移しております。

この状況を踏まえ、平成24年3月期の連結通期業績予想につきましては、前回発表（平成23年5月13日付「平成23年3月期 決算短信」）の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,447,333	4,415,396
受取手形及び売掛金	2,186,784	1,201,823
商品及び製品	407,933	536,279
その他のたな卸資産	186,120	217,465
前払費用	1,099,724	1,177,318
繰延税金資産	364,895	827,082
その他	653,178	694,855
貸倒引当金	△98,842	△93,174
流動資産合計	12,247,128	8,977,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,074,210	5,309,703
工具、器具及び備品（純額）	716,619	670,729
土地	3,462,757	3,462,757
建設仮勘定	709,280	371,830
その他（純額）	136,612	204,219
有形固定資産合計	10,099,480	10,019,241
無形固定資産		
のれん	1,248,939	1,020,495
その他	2,530,852	2,484,240
無形固定資産合計	3,779,792	3,504,735
投資その他の資産		
投資有価証券	1,688,306	1,743,535
長期貸付金	157,171	124,465
長期前払費用	732,622	703,737
敷金及び保証金	4,446,071	4,453,081
繰延税金資産	980,022	989,575
その他	438,322	437,437
貸倒引当金	△87,648	△86,665
投資その他の資産合計	8,354,869	8,365,167
固定資産合計	22,234,142	21,889,144
資産合計	34,481,270	30,866,189

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,255	429,089
短期借入金	5,320,124	4,689,313
未払金	2,189,638	2,099,410
未払法人税等	677,366	84,339
前受金	2,342,493	2,946,540
賞与引当金	434,201	728,621
役員賞与引当金	35,411	8,852
返品調整引当金	30,706	30,505
預り金	2,213,938	730,831
その他	890,380	879,290
流動負債合計	14,598,516	12,626,795
固定負債		
社債	1,600,000	1,600,000
長期借入金	7,162,167	6,973,317
退職給付引当金	1,369,186	1,332,151
役員退職慰労引当金	636,193	644,175
資産除去債務	908,760	920,251
その他	387,186	354,762
固定負債合計	12,063,494	11,824,656
負債合計	26,662,010	24,451,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,138,138	2,138,138
資本剰余金	2,141,151	2,141,151
利益剰余金	5,002,112	3,623,556
自己株式	△1,287,682	△1,288,154
株主資本合計	7,993,720	6,614,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△171,773	△195,029
為替換算調整勘定	△2,687	△4,925
その他の包括利益累計額合計	△174,461	△199,955
純資産合計	7,819,259	6,414,737
負債純資産合計	34,481,270	30,866,189

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業収益	6,675,213	6,988,406
営業原価	5,859,520	5,991,950
営業総利益	815,693	996,455
販売費及び一般管理費	2,441,729	2,264,582
営業損失（△）	△1,626,035	△1,268,126
営業外収益		
受取利息	7,268	5,583
受取配当金	36,037	37,118
受取賃貸料	23,839	5,857
その他	12,497	22,164
営業外収益合計	79,642	70,723
営業外費用		
支払利息	59,665	61,268
コンサルティング費用	60,000	－
その他	41,169	81,418
営業外費用合計	160,834	142,686
経常損失（△）	△1,707,227	△1,340,089
特別利益		
投資有価証券売却益	47	－
貸倒引当金戻入額	10,198	－
固定資産売却益	335	－
特別利益合計	10,581	－
特別損失		
固定資産処分損	1,409	11,980
投資有価証券売却損	146	－
投資有価証券評価損	128,912	19,999
減損損失	－	9,687
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	524,758	－
特別損失合計	655,227	41,668
税金等調整前四半期純損失（△）	△2,351,873	△1,381,758
法人税、住民税及び事業税	181,553	69,861
法人税等調整額	△961,125	△456,311
法人税等合計	△779,572	△386,450
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,572,301	△995,307
少数株主利益	36,371	－
四半期純損失（△）	△1,608,673	△995,307

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,572,301	△995,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,874	△23,256
為替換算調整勘定	△17,512	△2,238
その他の包括利益合計	△74,386	△25,494
四半期包括利益	△1,646,688	△1,020,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,683,059	△1,020,802
少数株主に係る四半期包括利益	36,371	―

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	高校生部門	小・中学生部門	スイミングスクール部門	ビジネススクール部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,029,818	1,590,300	1,451,854	112,649	6,184,622	490,591	6,675,213	―	6,675,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,268	500	―	2,100	56,868	128,316	185,185	△185,185	―
計	3,084,086	1,590,800	1,451,854	114,749	6,241,491	618,907	6,860,398	△185,185	6,675,213
セグメント利益又は損失（△）	△314,116	△349,967	7,768	△33,649	△689,964	△19,882	△709,847	△916,188	△1,626,035

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△916,188千円には、セグメント間取引消去18,902千円、のれん償却額△250,528千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△684,562千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	高校生部門	小・中学生部門	スイミングスクール部門	ビジネススクール部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,275,411	1,590,836	1,485,028	120,610	6,471,887	516,518	6,988,406	―	6,988,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	123,741	12,881	―	―	136,623	117,056	253,679	△253,679	―
計	3,399,152	1,603,718	1,485,028	120,610	6,608,510	633,575	7,242,086	△253,679	6,988,406
セグメント利益又は損失（△）	189,814	△314,865	△47,363	△67,447	△239,862	△59,453	△299,315	△968,810	△1,268,126

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△968,810千円には、セグメント間取引消去1,600千円、のれん償却額△228,444千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△741,966千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第１四半期連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
（重要な資産の取得） 当社は、平成23年７月20日開催の取締役会において、以下の土地の取得を決議し、売買契約を締結し、同21日付で取得いたしました。 (1) 目的 当社の研修施設等用地として取得 (2) 取得資産の内容 ①　取得地　　東京都練馬区 ②　取得資産　　土地　660.91㎡ ③　取得価額　　340,000千円 ④　資金調達方法　自己資金